

製品名: カリスタチンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12891**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	47kDa

抗原情報

遺伝子名	SERPINA4
別名	SERPINA4; KST; PI4; Kallistatin; Kallikrein inhibitor; Peptidase inhibitor 4; PI-4; Serpin A4
遺伝子 ID	5267.0
SwissProt ID	P29622
免疫原	抗血清はヒト SERPINA4 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

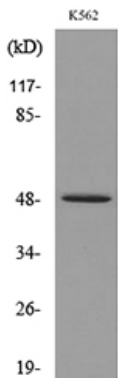
背景

機能: 組織カリクレインのヒトアミド分解活性およびキニノゲナーゼ活性を阻害する。阻害は、阻害剤と酵素との間で等モルの熱お

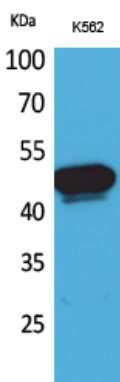
よび SDS 安定性複合体が形成され、組織カリクレインによって反応部位が切断され、阻害剤の C 末端に小さな断片が生成することで達成される。、その他:ヘパリンはカリスタチンと組織カリクレインとの複合体形成を阻害し、組織カリクレインの活性に対する阻害効果を打ち消す。、PTM: N 末端がブロックされている。、類似性:セルピンファミリーに属する。、サブユニット:モノマーおよびいくつかのホモダイマー。、組織特異性:肝臓で発現され、血漿中に分泌される。、機能:組織カリクレインのヒトアミド分解活性およびキニノゲナーゼ活性を阻害する。阻害は、阻害剤と酵素との間で等モルの熱および SDS に対して安定な複合体が形成され、組織カリクレインによって反応部位で切断されて阻害剤の C 末端に小さな断片が生成されることで達成されます。、その他:ヘパリンはカリスタチンと組織カリクレインとの複合体形成を阻害し、組織カリクレインの活性に対する阻害効果を解除します。、PTM:N 末端がブロックされます。、類似性:セルピンファミリーに属します。、サブユニット:モノマーと一部のホモダイマー。、組織特異性:肝臓で発現され、血漿中に分泌されます。、

研究分野

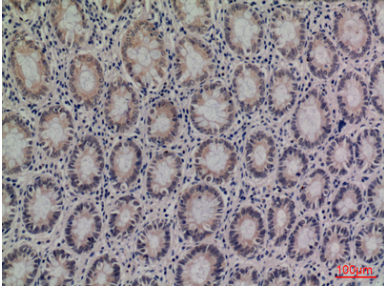
画像データ



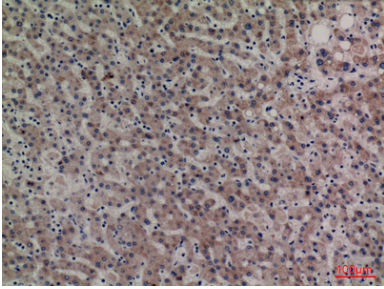
SERPINA4 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



カリスタチンポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された